

【管理運営状況公表様式】

平成22年度 自然ふれあいセンターの管理運営状況

県所管課	環境生活部自然保護課
指定管理者	青森県森林組合連合会 代表理事会長 本間家大
指定期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
県民の森利用指導業務	日曜観察会、自然教室等の企画・開催 写真展、作品展や講演会などの実施
情報発信業務	自然情報誌「梵珠だより」、「ネットワーク梵珠」の発行 ホームページ、ブログによる情報提供
施設の管理運営業務	警備業務及び建物設備の保守点検 展示物や備品の管理

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
入館者数	H19		30,906	(指定前の実績)	
	H20	30,000	36,705	122.4%	118.8%
	H21	30,000	36,733	122.4%	100.1%
	H22	30,000	34,348	114.4%	93.5%
行事参加者	H19	1,700	830	(指定前の実績)	
	H20	1,700	2,437	143.4%	293.6%
	H21	1,700	2,582	151.9%	105.9%
	H22	1,700	2,413	141.9%	93.5%
	H19			(指定前の実績)	
	H20				
	H21				
	H22				

【増減理由】入館者、行事参加者共に平成19年と比較して大幅に増加しているのは、平成20年度から指定管理者制度が導入され、これまで行ってきた日曜観察会等の行事に加え、指定管理者（青森県森林組合連合会）が自主事業などを開催したこと、ブログ「県民の森梵珠だより」の開催や地元広報誌を活用したPR活動に積極的に取り組んだことによるものと考えられます。入館者、行事参加者が平成22年度に減少したのは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、3月13日以降、センターを閉館していたことによるものと考えます。

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	梵珠山で登山や自然観察を行う利用者に対し、自然に関する情報提供や利用のアドバイスをっており、利用者から高い評価を得ている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	東日本大地震によりセンターを閉館したことから、来館者や行事参加者が減少したが、自主事業の開催や、ホームページ作成などPR活動を積極的に行い、新規利用者の獲得に努めている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	建物・設備の保守点検や清掃作業を定期的に行っている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	A	安全管理者を定め、事故及び災害の発生防止に務めている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	A	簡易な補修工事の自力施工、節電等に努め、経費の節減を行っている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	A	A	行事内容の充実に尽力し、さらにブログ等広報活動をこまめに行うことで、来山者の増加に努めている。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	青森県立自然ふれあいセンターの管理に関する基本協定書に基づき、個人情報の保護を行っている。
総合評価	A	A	

○評価基準

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を要する
- D（不可）：改善や更なる取組が必要